

政策企画会議 概要

日時：令和2年3月17日（火） 16：30～17：00

場所：301会議室

1 開会

知事挨拶

- ・昨年春から島根創生計画の策定作業に入り、関係部局の議論、県議会でのご審議、また、市町村、審議会からも様々なご意見をいただくなかで、今般取りまとめた計画の最終案について、本日、県議会から了承いただいた。
- ・県議会終了後、私の決裁を終え、島根創生計画の内容を確定させた。
- ・計画に基づき、目標として掲げている将来像に向かって、実行に移していく段階に入る。
- ・本日は、各部局がどのような方針で計画を実行に移していくのか、その執行方針を確認する。

2 審議

（創生計画に基づき新規・拡充した事業や、個別計画への反映状況等）

【地域振興部】

- ・小さな拠点づくりでは、公民館エリアを基礎単位としながら、人口減少が進むエリアにおいては、生活機能の確保が困難となることから、より広いエリアでの生活機能の確保ができる取組を進める。
- ・モデル地区での取組を見える形で示しながら、小さな拠点づくりの取組が更に進むよう力を入れる。
- ・中山間地域・離島においては、豊かな自然環境、特徴ある資源を活用したスモールビジネスの取組を強化する。
- ・Uターン・Iターン施策については、性別、年代別など、それぞれの特性に応じた支援を行う。
- ・中山間対策、移住・定住対策は、農林、商工をはじめ関係部局との連携をより一層深め取り組む。
- ・中山間地域活性化計画（第5期）を年度内に策定する。
島根創生計画と整合を図った計画であり、関係部局と連携して進める。

【健康福祉部】

- ・安心して出産・子育てでき、もう一人、二人と子供を産み育てたいと思えるような環境を整えるため、産前・産後の支援強化、市町村と連携した家事・育児支援を進める。
- ・放課後児童クラブの充実として、定員の拡充と受け入れ時間の延長も行う。
- ・市町村が実施主体となるものについては、十分な説明を行い、現場の声を聴いて、地域の実態にあった施策を展開する。
- ・健康づくりの推進においては、減塩と運動を柱とした取組により健康寿命の延伸を図る。
- ・年度明け早々、知事をトップに推進体制を作り、公民館活動を中心とした県民運動として展開する。

【農林水産部】

- ・農林水産業分野において、島根創生計画を具体的に実行していくため、島根県農林水産基本計画（島根創生計画にあわせた計画期間5年）を策定中である。
- ・農林漁業者、関係機関、県における取組を明確にするため、将来ビジョンと重点推進分野を定め、全ての分野で5年間の数値目標を掲げ、目標達成に寄与する施策の強化を進める。

- ・農業分野では、農業産出額 100 億円増、担い手不在となっている集落の半減を目指し、収益力向上の柱となる水田園芸を重点的に推進する。農村や地域づくりに不可欠な多様な人材の育成、確保にも力を入れる。
- ・林業分野では、原木生産量 80 万 m³の目標を達成するため、森林経営の収益力向上を図り、製材力の強化を進める。原木生産を支える就業者の安定確保にも力を入れる。
- ・水産業分野では、沿岸の自営漁業のテコ入れが急務であり、沿岸漁業産出額の倍増、漁村集落の維持を将来ビジョンとして掲げ、沿岸漁業の新たな担い手を確保し、経営発展に安心して取り組めるよう施策を展開する。

【商工労働部】

- ・ものづくり・IT産業の振興においては、先端金属素材のグローバル拠点の創出として、島根の強みである特殊鋼を活用した、新たな分野への地元企業の進出を支援する。
- ・観光振興においては、美肌観光を根付かせる取組を、県内関係者と連携して進める。インバウンド対策では、ターゲットを絞った取組を進める。
- ・県内事業者の県外進出を支援し、雇用の維持、外貨獲得の取組を進める。
- ・企業立地においては、中山間地域への立地に向け、市町村と連携して取り組む。
- ・関係部局と連携しながら、引き続き県内の就職促進の取組を進める。
- ・従前から一歩踏み込む取組を行い、産業振興を加速化させていく。

【土木部】

- ・社会基盤の整備においては、国直轄事業では、事業の推進を国に求める。県事業では、事業費の多くを補助金、交付金で賄っていることから、補助メニューを効果的に組み合わせるとともに、事業費の手厚い配分を国に要望する。
- ・基盤整備の効果を早い段階から最大限活用してもらえよう、事業方針や完成見通しを積極的に公表する。
- ・建設産業界に対する施策については、女性に活躍してもらいやすい環境整備とスキルアップにつながる資格取得の支援などを行う。
- ・住宅に関する施策については、子育てしやすい環境整備として、子育て世代向けの住宅リフォーム助成制度を新設する。

【教育長】

- ・県内全域で島根らしい魅力ある教育を展開する。
- ・子供の世代から地域への愛着と誇りを育む取組に力を入れていく。
- ・新年度から、教育魅力化人づくり推進事業において、学校と地域が協働して教育の魅力化を推進する。この中で県立高校と地域が協働して取り組む教育の魅力化を支援する。
- ・新たに協働体制を構築するために、多世代が世代を超え、相互に学び合えるよう交流の機会も創出していく。
- ・高校においては、地域との協働による探求的な学習、インターンシップの取組を充実する。
- ・県内大学、地元企業との連携による先駆的な取組も支援する。
- ・小中学校においては、ふるさと教育が一層推進されるよう引き続き支援する。
- ・島根教育魅力化ビジョン（島根創生計画にあわせた計画期間5年）を、今年度内に策定する。島根創生計画と整合を図った計画であり、関係部局と連携して進める。

(部局横断で取り組む施策、共有すべきポイント等)

【広報部】

- ・島根創生計画の周知を図り、県民の方に身近なものとしてイメージしてもらおう。
- ・県民挙げての計画であるということが伝わり、県民の方に共感を持ってもらえるような広報を展開する。

【環境生活部】

- ・外国人住民への生活支援や地域住民との共生が課題となっている。
- ・外国人住民に対する施策は、教育、雇用、医療、福祉など多分野に及ぶため全庁的な取組が必要である。
- ・引き続き、関係部局長で構成する外国人住民受け入れに関する連携会議や担当者レベルでの会議で、情報共有、施策のすり合わせを行う。

【女性活躍推進】

- ・女性活躍推進プランに基づき施策を展開していく。
- ・子育て世代に向けた支援の充実、女性が働き続けやすい環境づくりなどを盛り込んでいる。
- ・女性に対する施策に加えて、男性や企業に対する施策などを盛り込んでいることから、部局を横断した取組が必要。

【政策企画局】

- ・島根を創る人づくりプロジェクトにおいて、県内大学からの地元就職を促進するため、経済界、高等教育機関と県でコンソーシアムを設立する。
- ・企業から求められる人材育成、学生に求められる会社づくりを進めるため、教育機関と経済界両方にノルマを果たしてもらおう。
- ・県外に出た学生、特に女性にUターンしてもらうため、短大、専門学校に進学した学生のUターンに向けた取組を確立する。
- ・子供たちへのふるさと教育を中心とした、将来地元に住んでももらえるような情報提供は、各部局がそれぞれアプローチする必要がある。
- ・今後も次長級を中心とした人づくりプロジェクトチームを継続し、各部局が連携して、人が島根に住む動きづくり、心へ訴える取組を進める。

知事

- ・島根創生計画に基づいて具体的に人口増、出生増、社会減の解消につながるような、県民の皆さんの生活環境、事業環境の改善を具体的に引き出していくことが大事である。
- ・県民の皆さんの生活の改善につながる、具体的な施策を展開することが大事である。
- ・各部局の連携について、問題点があれば早い段階で部局長が吸い上げ、問題点を整理し、相互調整することが大事である。
- ・具体的な成果を早く出していくことを心掛けてもらいたい。
- ・最後に、今般の議会の議決に至るまで、各部局、各課多くの職員の皆さんにご尽力いただいた。部局に戻られたら、職員の皆さんに感謝の言葉を伝えていただきたい。

3 閉会